

科目名		必修・選択	単位数	類型
倫理		選択	2	GC
教科書	詳述 倫理（実教出版） 最新図説倫理（浜島書店）			
副教材等	詳述 倫理ノート（実教出版）			

1 学習目標

- ・人間としての在り方についての見方・考え方を働かせて、現代の諸課題を倫理・哲学・宗教などに関わる多様な視点に着目して捉え追究する。課題解決のために複数の立場や社会の様々な課題を追究したり解決したりする力を身に付ける。
- ・グローバル化する国際社会において、課題解決のために、複数の立場や意見を踏まえたり構想したりする力を身に付ける。

2 学習概要

- ・第1編の「現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」では、**人間の存在や価値に関わる基本的な課題について思索する**活動を通じて、様々な人生観や世界観、価値観を理解できるようにする。また、国際社会に生きる日本人として、**日本の伝統と文化や日本人としてのものの考え方の特徴を理解し**、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索を深める。
- ・第2編の「現代の諸課題と倫理」では、第1編で身に付けた倫理や哲学の基本原則をもとにして、現代の倫理的諸課題の解決を探るために必要な思考や思索を深め、**説明したり対話したりする力を身につけることができるようにする。**

3 学習方法

（1）授業への取り組み

予習：まずは教科書を読むことから始めましょう！倫理は難しい用語がよく出てくるので辞書で調べておくとう理解が深まる。授業は2～4ページ進むので、一通り読んでおき、欄外の原典（著作の一部）などにも目を通しておいください。難しいけど面白いです。さらに詳しい内容は資料集にあります。

授業中：しっかり聞く＋ノートを取る＝自分だけのオリジナルノートを作る！

板書やスライドの重要事項を写すことは基本ですが、それ以外にも先生の発言や気づいたこと、疑問に思ったことをメモすることを忘れずに。自分だけのノートができるように、色ペンを使ったり、図でまとめたり、プリントを貼ったりするなど、後で見返したときに参考書のようになっていると最高です。これはどの科目でも共通しています。

（2）家庭学習

ワークノートを使って知識の定着を図る。空欄補充だけでなく、「ステップアップ」も解くことで理解が深まり、実力も身につきます。秋以降は共通テストの過去問にも挑戦してみよう。

（3）学力向上のために

新聞を読みましょう。図書室にも複数紙置いてありますので、毎日読んで読解力をつけよう。現実社会における事件と宗教や哲学の関連を考えられればベスト。（Q：イスラエルとパレスチナそれぞれの宗教は何でしょうか？）気になった記事は切り抜いてノートに貼り、感想を書いてみましょう。

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能（①）」：定期試験・学力テスト・小テスト・振り返りシートなど

「思考・判断・表現（②）」：授業プリント・振り返りシート・課題作品・発表など

「主体的に学習に取り組む態度（③）」：ノート・提出物・授業態度・課題作品・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（2）評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	現代の諸課題について思索するための手掛かりとなる 概念や理論について理解する 。様々な原典や資料の中から必要となる 情報を適切に調べたり、わかりやすくまとめたりすることができる。	自己の生き方についてより深く思索する力や倫理に関する 概念や理論などを活用して、論理的に思考したり、思索を深め、説明や対話をすることができる。	他者とともによりよく生きる自己の形成に向けて、現代の 諸課題を倫理や哲学、宗教と併せて主体的に解決しようと取り組むことができる。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一 学 期	第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成	・青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考え方をと、様々な人間の心のあり方を理解する。	中間 考 査
	第2章 人間の存在や価値と宗教 1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	・古代ギリシアの思想をと、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ・キリスト教をと、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ・イスラームをと、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ・仏教をと、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ・儒教などの中国の思想をと、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。	
	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳	・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。	
二 学 期	2 科学革命の時代と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	・人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。 ・社会契約の思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ・社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。	中間 考 査
	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加	・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。	
	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い	・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、国学や江戸時代の庶民の思想との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、西洋思想の受容との関係を理解する。	
三 学 期	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題	・生命との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 ・地球環境との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。	